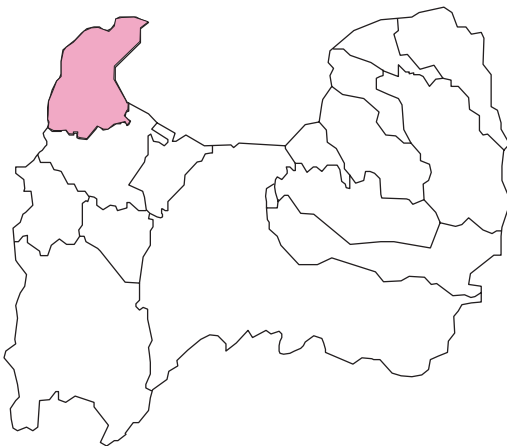


まんがを生かしたまちづくり

富山県 氷見市 建設部 建設課

1 はじめに

氷見市は、人口約 55,000 人、面積約 230 平方キロメートルで、富山県の西部能登半島の東側付け根部分に位置しています。



位置図



富山湾越しに望む立山連峰

市の東側の海岸線には、万葉時代の面影を残す白砂青松の長浜があり、晴れた条件の良い日には、富山湾越しに 3,000 メートル級の山々が連なる立山連峰の雄大な姿が望まれます。

また、氷見漁港には、天然の「いけす」と呼ばれる富山湾から四季を通じて多くの種類の魚介類が水揚げされ、初夏の「マグロ」、冬の「寒ぶり」、そして「氷見鯛」は広辞苑にも掲載されるほど知られております。新鮮な魚介類の他にも、氷見牛や氷見うどん、ハトムギ等の特産品があり、まさに氷見市は山海の新鮮な食材に恵まれた“食の都”と言えます。

さらに、日本海側随一の大きさを誇る前方後円墳「柳田布尾山古墳」や国指定史跡の「大境洞窟住居跡」、万葉の歌人大伴家持ゆかりの史跡など、歴史ロマンにあふれた地域でもあり、市内各地に温泉があり、「能登半島国定公園 氷見温泉郷」としても知られています。

2 地域資源を生かすための道の整備

氷見市では氷見市総合計画において「6 万人定住と 200 万人交流の都市づくり」を掲げ、200 万人交流の実現に向けて、これまで地域資源を最大限活用しながら交流人口の拡大を図っています。

このような中で、平成 19 年 4 月に能越自動車道が氷見インターチェンジまで開通し、平成 20 年 7 月には東海北陸自動車道が全線開通、氷見市と中京圏が高速ネットワークで結ばれました。

こうした高速ネットワークの整備により、氷見市の観光客の入りこみ総数は統計を取り始めた平成元年からでは過去最高で、この内県外観光客が 27.2%の増加となっています。

特に、氷見漁港に隣接する道の駅「氷見フィッシャーマンズワーフ海鮮館」の平成 20 年度の来館者数は

前年度比 21.9%増の 744 千人で、東海北陸自動車道の全線開通の効果が大きく表れていると考えられます。

道路の整備については、日常の生活道路としては勿論、点在する歴史的建造物や景勝地を結ぶ観光ルートや管理道路として、また 町の中心部においては、にぎわいの創出、景観や町並みの連続性に配慮し歩行を快適にする等、様々な観点からの整備が必要です。

このような中から、道の駅を訪れる多くの人々を市中心部へ誘客するために現在取り組んでいる「まんがロード」を紹介させていただきます。



3 まんがを生かしたまちづくり「まんがロード」

氷見市は漫画家の藤子不二雄^①先生の出身地であり、先生のご協力をいただきながら「まんがを生かしたまちづくり」を進めています。

前述の道の駅「氷見フィッシャーマンズワーフ海鮮館」から、市の中心部を流れる湊川にかかる忍者ハットリくんのカラクリ時計までの商店街通りは、「まんがロード」と呼ばれ忍者ハットリくんとその仲間たちなど多くのキャラクターのモニュメントが点在しています。

まず、「海鮮館」に来館いただきますと、館内にあるイメージキャラクター「ひみぼうずくん」のモニュメントがお迎えいたします。そして外へ出ると隣接する氷見漁港内にハットリくんの巨大壁画が見えます。



ハットリくん壁画



市道新町吐川線

氷見漁港より、市街地中心部へ通じる市道新町吐川線は、まちづくり交付金事業により延長約 140m の中央町交差点まで電線類の地中化やバリアフリー化、消雪パイプの設置等を行い明るく整備され、歩道上には同じく交付金の提案事業により忍者ハットリくんなど 4 体の漫画キャラクターモニュメントが配置されています。



忍者ハットリくん



シンゾウくん

中央町交差点には「中央町ポケットパーク」が整備され、ブロンズ製のブリの背に乗ったハットリくんの水飲み場が設置されていますので、ゆっくり休憩することができます。



中央町ポケットパーク



ハットリくんの水飲み場

ここから、進路を南にとり市街地の中心である国道 415 号を氷見駅方面に向かうと、まちなかのにぎわい創出の拠点として商店街の空き店舗を改装し平成 19 年 10 月にオープンした氷見市潮風ギャラリーがあり、藤子先生の代表作である「忍者ハットリくん」や「プロゴルファー猿」、「怪物くん」をはじめ、「笑っせえるすまん」、富山ゆかりの「少年時代」、「まんが道」などの複製原画が展示されています。

また、特別展示室には、藤子先生が作品制作に没頭した東京・豊島区椎名町のアパート「トキワ荘」2 階 14 号室を再現したコーナーもあり、多くの来館者から、「当時の雰囲気が伝わってきてタイムスリップしたような気分になる。」と好評です。

潮風ギャラリーが面する潮風通りには、魚のまち氷見を象徴するブリのほか、カニやタコなどをモチーフにした本市オリジナルの「氷見サカナ紳士録」などのキャラクターモニュメントが 8 体、その他に忍者ハットリくんとその仲間たちが 5 体、忍者ハットリくんポストが 2 箇所、立ち並んでおり散策を楽しむことができます。



氷見市潮風ギャラリー



潮風通り



「氷見サカナ紳士録」キャラクター



忍者ハットリくんポスト

このほか、藤子先生の生家・光禅寺には「怪物くん」や「笑ゥせえるすまん」など4体の人気キャラクターの石像が設置され、まちの中心を流れる湊川には「忍者ハットリくん」の人気キャラクターたちが水煙の上がるなかで1時間ごとに4分間の愉快的なショーを繰り広げる「湊川カラクリ時計 虹の橋」が架かっており、親子連れの人気スポットとなっています。



怪物くん等の石像



湊川カラクリ時計 虹の橋

そして、さらに氷見駅まで足を伸ばすとそこには「忍者ハットリくん列車」が待っています。ホームから見るもよし、乗車するもよし楽しんでいただけます。



忍者ハットリくん列車



4 おわりに

まんがロードの整備により、大きな集客拠点となっている道の駅「海鮮館」と市街地内の観光資源を結ぶ歩行者ネットワークを形成し、観光客を市街地へ誘導することは、中心市街地のにぎわいの創出、活性化に大いに貢献すると考えています。

氷見の市街地は、まさに「藤子不二雄[®]ワールド」という雰囲気が漂っています。

昨年10月には、市内2つ目となる能越自動車道の氷見北インターチェンジも開通しました。便利になった高速道路を使って、藤子漫画の人気キャラクターに会いに、ぜひ氷見への旅を計画してみたいはいかがでしょうか。